

【様式1】

食育月間の取組
(6月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福岡県
取組市町村名	春日市
取組の名称	春日東小「食育フェスタ」
実施時期	平成29年6月19日～
取組内容	<p>1 ねらい 食育の日にあわせて、食を通じたコミュニケーションやバランスのとれた食事のとり方・給食への感謝など、食を大切にする気持ちを育てるとともに、食に関する知識と選択能力の習得を推進します。</p> <p>2 給食委員会活動としての取組 (1)食育の日全校放送 毎月19日の給食時間、食育の日の設定理由や食べ物の大切さ、学校給食への感謝について子供達が原稿を作成し、全校放送をしました。 また、例年実施している「食育フェスタ」の新しいコーナー 紹介を含めた案内をしました。</p> <p>(2)「食育フェスタ」の計画・運営 ①昨年度実施の内容を見直す話し合いをしました。 ②取り上げたい内容から、新設するコーナーの計画を立てました。 ③具体的に役割分担をして、運営の準備をしました。 ④広報活動のポスターを作成し、担当学級へお知らせにいきました。 ⑤フェスタ会場づくりをしました。 ⑥設定した3日間、会場運営をしました。</p> <p>(3)「食育フェスタ」の成果と課題 ○兄弟学年で誘い合って開催を3日間に分け、兄弟学級で実施した。(1年と6年・2年と5年・3年と4年) 1年生は6年生に誘われて、また、2年生は5年生に誘われて参加できたことで、たくさんの児童が参加してくれました。 ○本年度は、昨年度好評であった「豆つかみ」(指定の時間内で大豆をいくつかで箸で一粒ずつつかんで移動し、各学年部に設定された目標を超えられるかに挑戦するコーナー)「食に関するクイズ」(食材に関するクイズで、全学年対象の三択クイズ)を実施したことで、経験者が要領を得て、楽しく参加できた。 ○本年度新設した「朝食メニューづくり」(たくさんのメニューの中から、自分が食べたいものを選ぶが、栄養バランス的に良いかを考えるコーナー)では、全員が初めてであり、主催者の意図や、やり方を理解してもらった時間がかかった。 ○本年度新設した「朝食メニューづくり」では、高学年とペアで参加した低学年は、高学年のアドバイスを受けながらメニューを考えることができ、家庭科の知識が無くても楽しんでいた。 ○本年度新設した「朝食メニューづくり」を担当した給食委員会のメンバー自身が、これ「これを機会に栄養素の勉強ができてよかった。という感想がでた。」という感想を述べていた。 ●ほぼ全校の児童が参加してくれたことで、会場が混雑してしまい、場の設営については再考すべきだった。 ●「豆つかみ」では、各学年の目標設定数が高かったため、目標を超える子が少なく、途中で目標数を変更して対応した。</p>

【様式1】

食育月間の取組
(6月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福岡県
取組市町村名	田川市(弓削田小学校)
取組の名称	食育をテーマにした学習参観の実施、健康委員会児童による後片付け点検の実施、校区で取り組む「朝ごはんチャレンジ」など
実施時期	6月
取組内容	<p>○食育をテーマにした学習参観の実施(6月24日) 本校で取り組んでいる食育を進めるために、学校と家庭・地域との相互理解や連携・協働を深めることをねらいとした学習を全学級で公開しました。保護者の参加は336名(80%)でした。 5年生では、事前に田川市内でお茶畑を持っている方からお茶の木をいただいて茶摘み体験をしたり、栄養教諭からお茶の効能について聞く学習をしました。参観当日は、田川市内の日本茶インストラクターの方に来ていただき、家庭科でおいしいお茶の入れ方を子どもたちに教えてもらいました。学習参観で行うことで、親子で学ぶことができ、家庭での実践によりつなげることができました。</p> <p>《学習内容》 1年 さつまいもを植えよう 2年 おいしいやさいになあれ 3年 すききらいをしないで食べよう 4年 マナーアップでおいしさアップ 5年 お茶をいれてみよう、虫歯の予防 6年 世界の中の日本</p> <p>○健康委員会児童による後片付け点検の実施(6月19日～23日) 子どもたちが、毎日の給食を作っている調理師さんたちへ感謝の気持ちを伝えるために、また、食べ物を大切にするために、給食の後片付け(食べ残しを含む)点検を行いました。毎日、全校放送で結果を伝えることにより、後片付けの徹底と食べ残しを減らすことができました。</p> <p>○小中連携して校区で取り組む「朝ごはんチャレンジ」の実施(6月27日～7月3日) 朝ごはんを毎日食べることと、家庭でチャレンジ内容(朝食のお手伝いや家族そろって朝食を食べる、テレビを消すなど)を決めて取り組む「朝ごはんチャレンジ」を中学校と時期をそろえて校区で取り組みました。この期間の朝食摂取率は97%と高く、親子で食生活を見直す機会になりました。</p> <p>○学校給食での県産品の積極的な活用(6月12日～16日) 6月の第3週を「県産品使用週間」として、県産品をいつもより多く使い、子どもたちに資料で県産品を紹介しました。</p> <p>○「食育だより」の配布 食育月間の趣旨や、家庭で取り組んで欲しい内容を書いた「食育だより」を各家庭に配布しました。</p>

【様式 1】

食育月間の取組
(6月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福岡県
取組市町村名	八女市
取組の名称	地産地消を通じた食育推進
実施時期	6月16日
取組内容	<p>八女市地産地消推進協議会では、毎月19日を『地産地消給食の日』と定めて、地元産農産物を活用した学校給食を実施しています。 この取り組みは、次代を担う子供たちに、生産者の顔が見える食材を使った給食を提供することで、地元産農産物への理解と「食と農」を身近に感じてもらうことを目的としています。</p> <p>また、じゃがいもの生産者である市内の女性グループに協力いただき、「生産者とのふれあい給食」を合わせて実施しています。</p> <p>【具体的実施状況】</p> <p>①学校給食での食材活用 ○日 時 平成29年6月16日(金) ○対象 市内小中学校 ○活用食材 ミディマト・じゃがいも</p> <p>②ふれあい給食(じゃがいも) ○日 時 平成29年6月16日(金)(ふれあい給食) ○対象 八女市立川崎小学校1・2年生 ○協力団体 八女市の農業・農村の活性化をめざす女性の会</p>